

0 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文1～4を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 人びとは集団を形成し、集団内での自給自足や他の集団との交易を通じて生計を立てている。

更新世後期の日本列島が大陸と陸続きであった時期に、大型動物や人びとが渡来した¹⁾と考えられる。彼らは家族など小さな集団単位で狩猟生活を送っていた。

約1万年前になると、地球温暖化によって海面が上昇し、日本列島の地形は現在に近いものとなった。大型動物は姿を消し、人びとはイノシシやシカなどの狩猟や木の実など植物の採取を行っていた。狩猟には^{やじり}鏃をつけた弓矢が用いられ、堅い木の実をすりつぶすには(イ)とすり石が用いられた。5500年前から4000年前の集落跡である三内丸山遺跡から久慈のコハクや、産出地が遠方の地である石などが出土している。縄文時代にはすでに地域間での交易が行なわれていたことが明らかとなった。²⁾

縄文時代の終わり頃、九州北部で水稻耕作がはじまり、紀元前4世紀頃には水稻耕作を基礎とする弥生文化が成立して各地に広がった。紀元前4世紀から紀元3世紀頃までの時期を弥生時代と呼んでいる。人びとは食料生産に基盤をおいて定住するようになり、集落が形成された³⁾。やがてその規模も大きくなり、集落を統率する指導者が現れた。また、他の集落との接触による争いが起こり、集落は統合されて政治的にまとまった小国を形成していった。吉野ヶ里遺跡に代表される環濠集落や、紫雲出山など瀬戸内海沿岸の山頂や丘陵部に設けられた(ロ)集落はいずれも防御集落と見られ、この頃は各地で争乱が起こっていたことがうかがえる。

2. 701年、刑部親王や藤原不比等らによって大宝律令が完成した。人びとは良と賤に分けられた。賤民には官有の陵戸、官戸、公奴婢と、私有の(ハ)、私奴婢の5つの身分があり、私奴婢は所有者の財産として売買・譲渡された。土地は公有が原則であり、班田収授法に基づいて人びとに班給された。

⁴⁾ 律令体制の下で都は繁栄したが、国の財政を支える農民の税負担は増し、それに耐えかねた農民の逃亡が相次いだ。743年、墾田永年私財法が出されると、資力のある貴族や寺院は広大な山野を開墾した。これを初期荘園という。

撰関政治の頃になると、公地公民制に⁵⁾基づく班田制を維持することが困難となり、政府の財政は困窮した。政府はたびたび荘園整理令を発したが効果は上がらず、国司に地方での徴税を任せ、政府に納付させた。国司は自らの裁量で課税率を決定できたので、課税率を高くして私腹を肥やす者も現れた。財を蓄えた国司の中には、朝廷の儀式の費⁶⁾

用や寺社・宮殿の造営費を拠出し、その代償として官位を得る者や、自らが任国に赴任せず、収入だけを受け取る（二）国司も現れた。988年、尾張国の郡司や農民が、国司の暴政を朝廷に訴えた「尾張国郡司百姓等解文」には、国司である（ホ）の私利をむさぼる行為が示されている。

3. 鎌倉時代になると、新しい土地の開墾や農業技術の発展によって農業生産力が増大し、二毛作が畿内や西国を中心に広がった。農業生産力の拡大は手工業や商業にも新たな展開をもたらした。熱した金属を鍛えて刃物や農具を造る鍛冶、溶かした金属を型に流し込んで鐘や鍋を造る（ヘ）など、専門の手工業者が現れた。彼らは「道々の輩」^{みちみちともがら}、「諸道細工人」^{しよどうさいくじん}などと呼ばれて諸国を渡り歩き、あるいは村内に住みついた。また、定期市⁷⁾が開催されるようになり、交換経済が盛んとなった。

室町時代になると、肥料の使用や灌漑用水の共同利用が進み、二毛作が関東地方まで広まっていった。また、朝鮮が倭寇の本拠地として考えていた対馬を襲撃し、宗貞盛がこれを防ぐという事件⁸⁾があり、室町幕府からの使節派遣の回礼使として来日した宋希璟は各地を見聞して『老松堂日本行録』を記した。その内容から、畿内では三毛作が行なわれていたことが読み取れる。農業や手工業の発達に伴い、商業も発展した。都市では商人が見世棚を構え、行商人は商品を持ち歩いて商売を行なった。京都西郊に住む鶴飼集團の女性は（ト）と呼ばれる行商人で、京の町で鮎などを売り歩いた。

応仁の乱によって室町幕府の勢力は後退し、戦国時代へと突入する。戦国大名は農民には耕作の権利を保障する一方、検地を行ない、惣を利用して連帯責任制を強め、土地と農民を支配した。領国経営を進めるため、戦国大名は鉱山開発⁹⁾を進めた。関所を撤廃し、宿駅・伝馬制を整え、楽市・楽座によって商品の流通を促した。商業の発達に伴って商品輸送が活発となり、港町¹⁰⁾が繁栄した。

4. 江戸時代、幕府や藩は農業の奨励と農村の統制に注力した。農民には、検地帳に記載され、年貢の納入が義務づけられる本百姓と、本百姓の土地を借りて小作する水呑百姓、本百姓に隷属する名子・被官らがいた。村政は村役人¹¹⁾によって行なわれた。村統治の組織として五人組制度が設けられ、村民は年貢納入や犯罪防止に関して連帯責任をとられる一方、生活や耕作を維持するための相互扶助組織である結^{ゆい}をつくった。

農民にはさまざまな負担が課された。その中心は本途物成で、徴収法には毎年の収穫高に応じて年貢率を変える検見法と、一定年限のあいだ年貢率を固定する（チ）法があった。小物成は山林、原野、河海などの用益や副業に課され、夫役には戦時に課さ

れる陣夫役，築城・用水普請などの労役，宿駅用の人馬を出す（リ）があった。

都市には武士が集住し，手工業者や商人を集めて城下町を形成した。城下町は身分ごと¹²⁾に居住地が分けられた。手工業者や商人は町人地に居を構え，地主や家持，地借，店借などがそこで生業を営んだ。都市は町によって構成され，町ごとに村の本年貢に相当し屋敷地に対する税の（ヌ），営業に対する運上・冥加，夫役などが課されたが，（ヌ）は免除されることもあった。

この頃は戦乱のない安定した時代であり，幕府や諸藩，有力農民による新田開発¹³⁾で耕地面積が増大した。のちに町人の資本による町人請負新田も増えた。摂津の（ル）新田は大規模なものであり，大商人が新田農村を支配するようになったことを意味する。商品作物の栽培も進み，本田畑以外の土地に四木三草などを栽培することが奨励された。また，多くの農書¹⁴⁾が著され，農業技術に関する情報が全国に広がったのである。

A. 文中の空所(イ)～(ル)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
 - a. オオツノジカは北方から渡来した動物であり，野尻湖の湖底から歯の化石が見つかっている
 - b. ナウマンゾウは南方から渡来した動物であり，化石は本州，四国，九州で見つかっているが，北海道では出土していない
 - c. ヘラジカは南方から渡来した動物であり，化石は全国各地で見つかっている
 - d. マンモスは北方から渡来した動物であり，化石は北海道で見つかっている
2. この種類と原産地の組み合わせとして正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び，その記号をマークせよ。
 - a. 神津島－黒曜石
 - b. 白滝－黒曜石
 - c. 二上山－サヌカイト
 - d. 姫島－ひすい

3. この時代に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 湿田で実った稲は石包丁で穂首刈りが行なわれ、収穫物は高床倉庫に収納された
 - b. 水稻耕作の北限は関東地方であり、東北と北海道では狩猟や漁労が行なわれていた
 - c. 青銅器の多くは祭祀に用いられ、銅矛や銅戈は近畿地方、銅剣は瀬戸内中部、銅鐸は九州北部を中心に分布している
 - d. 弥生土器の甕は貯蔵用、高坏は煮炊き用、鉢は盛りつけ用として使われた
4. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 家屋やその周囲の土地は私有が認められたが、口分田は売買できなかった
 - b. 官有の賤民には口分田が班給されたが、私有の賤民には班給されなかった
 - c. 死者の口分田は 6 年ごとの班年に収公された
 - d. 班田収授を行なうため、政府は土地を 6 町四方の正方形に区画した
5. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- i. 開墾や経営に国司や郡司の協力が得られなかった
 - ii. 付近の班田農民に賃租したり、浮浪人を雇って耕作させたりした
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
 - c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
6. これを何と呼ぶか。その名をしるせ。

7. 以下は時宗の開祖による諸国遊行・布教の生涯を記録した絵巻の1つであり、備前国福岡で開かれたこれを描いたものである。この絵巻の名を記せ。



8. これを何と呼ぶか。その名をしるせ。
9. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 石見銀山は尼子氏や大内氏，毛利氏の間で争奪戦が繰り広げられた
 - b. 佐渡金山は豊臣政権の支配下におかれたのち，江戸幕府の直轄となった
 - c. 豊臣秀吉は支配下においた鉱山の金銀によって天正大判などの貨幣を鑄造した
 - d. 別子銅山は江戸時代初期に発見され，徳川家康が幕府の直轄とした
10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 草戸千軒町は芦田川の河口につくられた門前町・港町・市場町であった
 - b. 堺は年行司と呼ばれる12人の豪商による自治都市として栄えた
 - c. 兵庫は和泉の湊で関も置かれ，西国物産の中継地であった
 - d. 坊津は瀬戸内海沿岸にある港町で，遣明船の寄港地として栄えた
11. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 組頭は五人組を統率する農民であり，名主による村政の監視役だった
 - b. 郡代や代官の指示を受けて村政に当たる農民であった
 - c. 名主，庄屋，肝煎の3つの役から成り，村方三役と呼ばれた
 - d. 百姓代は名主の補佐役であった

12. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 地借や店借は、地主や家持とともに町の自治に参加した
 - b. 城下町の上下水道や道・橋の整備などは、町人の役割であった
 - c. 町名主や町年寄などとよばれる町役人が、町掟に従って町政を運営した
 - d. 町人地は武家地の周辺や主要街道沿いに、寺社地は城下町の外縁部に設けられた
13. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 開発によって江戸中期の耕地面積は江戸初期の 3 倍になった
 - b. 児島湾は干潟の干拓、樺海は湖沼の干拓によって生まれた新田である
 - c. 田沼意次は林子平の『赤蝦夷風説考』を参考にして蝦夷地での新田開発の調査を命じた
 - d. 松平定信の指示により再開された印旛沼・手賀沼の干拓は利根川の洪水により挫折した
14. 『広益国産考』や『農具便利論』を著し、諸国をめぐって商品作物の栽培や農具の普及につとめたのは誰か。その名をしるせ。

Ⅱ. 次の文1～5を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろせ。

1. 高杉晋作らは門閥・身分にかかわらない志願者によって組織された奇兵隊を率いて長¹⁾州藩の主導権を握り、藩論を倒幕へ転換させた。この後倒幕の動きは加速する。1868年、徳川慶喜は鳥羽・伏見の戦いに敗れて江戸に逃れたが、明治政府はこれを追討する東征軍を発した。東征軍には豪農・豪商が組織した義勇軍が参加したが、このひとつに相楽総三が率いる（イ）隊があった。

明治政府は薩摩、長州、（ロ）の3藩出身者から募った親兵により軍事力を固め、これを背景に1871年に廃藩置県を実施した。その後1873年に徴兵令を公布したが、徴兵制による常備軍の編成は山²⁾県有³⁾朋³⁾らが主導した国民皆兵の考え方にたつものだった。徴兵制により編成された軍隊は、1877年に発生した、鹿児島士族を中心とした大規模な士族反乱である（ハ）に出動した。

2. 1894年に開戦した日清戦争に動員された兵員は約24万人で戦死・戦病死者は約1万3000人だった。これに対して1904年開戦の日露戦争で動員された兵員は陸軍だけで約109万人となり、人的被害は戦死者8万人以上、戦傷者14万人以上に達した。また、軍事費は17億円を超える膨大なものとなり、これを賄うために外債の発行とともに増税が行なわれ、国民の大きな負担となった。こうした負担にもかかわらず、日本全権小村寿太郎とロシア全権ウイッテの間で調印された（ニ）条約で賠償金がまったく得られないことに対する不満が高まり、1905年9月5日に東京の（ホ）公園で開催された講和反対国民大会は暴動化した。

1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本軍は中国大陸におけるドイツの根拠地であった（ヘ）⁵⁾省の主要都市青島などを占拠した。1918年にはアメリカなどの諸国とともに（ト）軍救援名目でシベリアに出兵し、この年の10月までに約7万3000人の兵力を送った。他国が1920年に撤兵するなかで日本は1922年まで出兵を続けた。

3. 1931年の満州事変以降、中国での戦線拡大、さらには太平洋戦争が開戦するとともに総動員体制が強化された。兵力の動員にも拍車がかかり、1943年には大学・高等学校・⁶⁾専門学校に在学中の徴兵適齢文科系学生・生徒を軍に徴集する（チ）がはじまった。敗戦時の現存兵員数は約790万人だった。

日中戦争・太平洋戦争における日本の戦没者は軍人・軍属230万人、民間人80万人とされる。国内では、多くの都市で空襲による被害が発生したほか、広島・長崎は原爆投

下により壊滅的被害を被った。また、沖縄戦では死亡した住民は10万人以上とされるが、このなかには日本軍により集団自決に追い込まれたり、強制移住によりマラリアに罹患して死亡したりしたものも多数含まれていた。こうした戦争経験は、多くの文学作品に取り上げられている。⁷⁾

この一連の戦争では日本以外でも多くの犠牲が生み出された。日本軍は1937年に国民政府の首都（リ）を占領した際には市内外で略奪・暴行を繰り返したうえ、捕虜や多数の中国人一般住民を殺害した。また東南アジアの占領地では圧政や住民虐殺などを行なったが、このなかでタイとビルマを結ぶ（ヌ）鉄道建設に連合軍捕虜・労働者を動員し、数万人の死者を出した。

4. 第二次世界大戦敗戦後、日本は実質的にGHQの統治下に置かれた。GHQは当初非軍事化・民主化を目指したが、冷戦が本格化するとともに政策を転換した。1950年には共産党中央委員の公職追放と官公庁・企業から多数の共産党員を追放する（ル）を行ない、同年に朝鮮戦争が勃発すると警察予備隊設置を指示した。

GHQ統治が終了したのち、1954年に日本がアメリカから経済・軍事援助を受ける代わりに防衛力増強の義務を負うことを定めた（ヲ）協定が締結され、自衛隊が発足することになった。この一方で1950年代以降は戦争反対・軍事基地反対を掲げる運動が展開された。⁸⁾

5. 1991年、イラクのクウェート侵攻に対してアメリカ軍を主力とする多国籍軍が制裁を加えた湾岸戦争が起こったが、日本はこの際にペルシャ湾へ掃海部隊を派遣した。1992年、（ワ）内閣のもとでPKO協力が成立し、PKOへの自衛隊海外派遣が可能となった。そして1996年には（カ）内閣のもとで日米安保共同宣言が発表され日米防衛協力指針（ガイドライン）の見直しが宣言された。小泉純一郎内閣は2001年のアフガニスタン紛争の際にテロ対策特別措置法を制定して自衛隊を（ヨ）⁹⁾海域に派遣し、さらに2003年のイラク戦争の際にはイラク復興支援特別措置法を制定して自衛隊をイラクに派遣した。自衛隊の海外派遣をめぐっては、憲法が禁じる海外派兵に当たるのではないかとの批判が起きた。¹⁰⁾

A. 文中の空所(イ)～(ヨ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～10)にそれぞれ対応する次の問1～10に答えよ。解答はそれぞれに与えられたa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。

- a. 坂本龍馬・中岡慎太郎らの仲介で薩摩藩との軍事同盟の密約を結んだ
- b. 佐久間象山を登用して財政改革に取り組んだ
- c. 八月十八日の政変で、急進派公家の岩倉具視らとともに京都から追放された
- d. 藩主の行列の前を横切ったイギリス人を藩士が殺傷する事件を起こした

2. これに関する記述として正しくないのはどれか。

- a. 戸主とその後継ぎ、官吏などに対して兵役免除の規定があった
- b. この令の公布に先立ち国民皆兵の必要性を述べた徴兵免役心得が公布された
- c. 士族・平民の区別なく20歳に達した男性が徴兵検査の対象となった
- d. 徴兵検査に合格し抽選に当たった者は3年間の兵役についた

3. この人物に関する記述として正しいのはどれか。

- a. 大蔵卿として酒造税などの増徴や官営工場払い下げを主導した
- b. 外務卿として不平等条約改正交渉にあたり領事裁判権の原則廃止を実現した
- c. 内閣総理大臣として第一議会で超然主義の立場をとった
- d. 日清戦争の講和交渉の全権となった

4. これに関する出来事について、もっとも古いものから年代順に並んでいる組合せはどれか。

- a. 壬午軍乱(壬午事変)→甲申事変(甲申政変)→防穀令事件→甲午農民戦争
- b. 壬午軍乱(壬午事変)→防穀令事件→甲午農民戦争→甲申事変(甲申政変)
- c. 防穀令事件→甲申事変(甲申政変)→壬午軍乱(壬午事変)→甲午農民戦争
- d. 防穀令事件→甲午農民戦争→甲申事変(甲申政変)→壬午軍乱(壬午事変)

5. この戦争中の出来事に関する記述として正しいのはどれか。
- a. 大戦景気が発生し、日本の貿易は大幅な輸入超過となった
 - b. 日本国内の工業が活発化し、猪苗代・東京間の長距離送電に成功した
 - c. 日本政府は段祺瑞政府に対して二十一か条の要求を行なった
 - d. 日本とイギリスとの間で、石井・ランシング協定が結ばれた
6. これに関する記述として正しくないのはどれか。
- a. 1937年に価格等統制令が出され、政府の直接的な経済統制がはじまった
 - b. 1939年に国家総動員法にもとづく国民徴用令が出され、一般国民が軍需産業に動員されるようになった
 - c. 1940年に大政翼賛会が結成されたが、これは総理大臣を総裁とし、部落会・町内会・隣組を下部組織とする官製の上意下達機関だった
 - d. 1941年に小学校は国民学校に改められ、「皇国の道」にもとづく教育が行なわれるようになった
7. これに関する作品と作者の組み合わせとして正しいのはどれか。
- a. 『黒い雨』－大岡昇平
 - b. 『真空地帯』－野間宏
 - c. 『俘虜記』－井伏鱒二
 - d. 『麦と兵隊』－石川達三
8. これに関する記述として正しいのはどれか。
- a. アメリカの水爆実験を契機として原水爆禁止運動がひろがり、1955年に第1回原水爆禁止世界大会が長崎で開催された
 - b. 沖縄では占領期から米軍基地撤去闘争が継続し、1995年に日米地位協定の見直しを要求する「沖縄県民総決起大会」が開催された
 - c. 1950年代から60年代の米軍基地反対闘争のひとつに、石川県砂川町の基地拡張に反対する闘争があった
 - d. 1960年代に反ベトナム戦争運動が広がるなかで、大江健三郎が代表となって「ベトナムに平和を！市民連合」(ベ平連)が結成された

9. これに関する記述として正しいのはどれか。
- a. 聖域なき構造改革を掲げて、新自由主義的政策を展開した
 - b. 政治改革を掲げて、選挙制度を改革した
 - c. 戦後政治の総決算を掲げて、行財政改革を推進した
 - d. 普天間基地の県外移設を掲げたが、挫折した
10. これに関する記述として正しくないのはどれか。
- a. 1945年に成立した幣原喜重郎内閣はGHQに憲法改正を指示され、憲法問題調査委員会を設置した
 - b. 1954年に公職追放から復帰した石橋湛山が首相となり、憲法改正と再軍備を推進する政策を掲げた
 - c. 1994年に村山富市委員長が首相となった日本社会党は、党の方針を転換して自衛隊を合憲と位置づけその存在を容認した
 - d. 2014年に安倍晋三内閣は、現行憲法下でも集団的自衛権の行使を可能とする閣議決定を行なった